



東京精密 サプライヤーCSRガイドライン

2019年1月 初版

株式会社 東京精密

はじめに

東京精密グループは、「世界中の優れた技術・知恵・情報を融合して世界No. 1の商品を創り出し、皆様と共に大きく成長していく」という「企業理念」のもと、多くのビジネスパートナーの方々に支えられて成長してまいりました。

近年、地球温暖化など世界共通の社会的課題または企業不祥事や不誠実な企業活動が多く発生するなどにより、世界的に「企業の社会的責任」(CSR)への社会の関心が高まったことから、企業の社会的責任を果たすことを、「ACCRETECHグループ行動規範」として定めています。また、サプライチェーン全体で持続可能な事業活動を行う必要があると考え、2015年にRBA行動規範(旧EICC:電子業界行動規範)への準拠を宣言しました。

RBA行動規範の趣旨に則つとり、『東京精密サプライヤーCSRガイドライン』を作成しました。全てのサプライヤーの皆様とWIN-WINの関係を深められるよう、社会的責任を重視したサプライチェーンを構築し、ともに持続可能な成長を目指します。

サプライヤーの皆様におかれましては、本ガイドラインの趣旨をご理解いただき、当社CSR活動への一層のご協力をお願いいたします。また、皆様のご自身のお取引先様への展開も含め積極的な取り組みをお願いいたします。

株式会社 東京精密
八王子工場生産管理部
土浦工場生産管理部

目次

1.調達方針.....	1
2.サプライヤーCSR ガイドライン	2
「人権と労働」	2
「安全と衛生」	2
「環境」	3
「倫理」	3
「安全と品質」	4
「情報セキュリティ」	4
3. サプライヤーの皆様へのお願い.....	5
4.改訂履歴.....	5

1.調達方針

お客様に高機能で高品質な製品とサービスを提供するにあたり、全てのサプライヤーの皆様と調達を通じてパートナーシップを深め、相互協力・信頼関係を構築し、共に成長・発展することができる関係を築きます。

品質はもとより法令や社会規範を遵守し、人権・労働、安全衛生、地球環境保全、情報セキュリティなど社会的な責任を果たす調達活動をサプライチェーン全体で取り組みます。

公平・公正な評価プロセスとコミュニケーションを通じて、信頼できる優れたサプライヤーの皆様とともに、市場変化への対応や付加価値の高いものづくりを進めます。

2. サプライヤーCSR ガイドライン

「ACCRETECHグループ行動規範」及び「調達方針」を基本に「東京精密サプライヤーCSRガイドライン」を定め、サプライヤーの皆様には社会的責任を果たすことの重要性をご理解頂き、サプライチェーン全体としての取組みを推進しています。

「人権と労働」

労働者の人権を守り、国際社会から理解されるように尊厳と敬意をもって労働者に接することに取り組みます。これは臨時労働者、外国人労働者、学生、契約労働者、直接雇用者およびその他の就労形態の労働者を含む、すべての労働者に適用されるものです。

1. 個人の人格と個性を尊重し、多様性を受け容れ、性別・年齢・国籍・民族・人種・信条等による差別を行わないこと。
2. 事業活動のあらゆる場面において、不当労働、強制労働および児童労働等の不法・不適切な行為を行わないこと。
3. 虐待や各種ハラスメントをはじめとする過酷で非人道的な扱いを禁止し、労働者の人権を尊重すること。
4. 法定制限を超えないよう、労働者の労働時間・休日・休暇を適切に管理すること。
5. 少なくとも法定最低賃金を支払い、また不当な（賃金）減額を行わないこと。
6. 結社の権利を認め、従業員代表との対話や団体交渉に誠実に応じること。

「安全と衛生」

労働に関連した怪我や病気を最小限に抑えることに加え、安全で衛生的な作業環境を維持することで、製品およびサービスの品質、製造の一貫性ならびに労働者の定着率および労働意欲を向上させることにつながります。

1. 労働者の安全・健康の確保を最優先とし、職場の労働安全衛生を確保し、事故・災害の未然防止に努めること。
2. 火災や地震など非常時に起こり得る出来事を特定、調査し、緊急対応策を

準備し、また職場内に周知すること。

3. 労働災害および労働疾病の状況を把握し、適切な対策を講じること
4. 身体的に負担のかかる作業を特定し、災害・疾病に繋がらぬよう適切に調査し、管理すること。
5. 機械装置の危険度を評価し、安全対策と適切なメンテナンス管理すること。
6. 職場および住居や食堂などの関連施設内において、安全な飲用水および清潔かつ衛生的なトイレを利用することができること。
7. 労働者が理解できる言語にて、安全衛生に関する教育、情報を提供すること。

「環境」

地球環境保全が人類共通の重要課題であることを認識し、「生産・サービスの全般において積極的に環境保全に配慮した行動をとる」ことを東京精密グループの環境理念としています。

1. 法規制において必要とされる環境許可(排出監視や危険物管理など)の申請・登録・届出を行い、要求された管理報告を行政に提出すること。
2. 省エネルギーと温室効果ガスの排出抑制に努めること。
3. 水使用を抑制し、生物多様性への影響を最小とするように努めること。
4. 環境への負荷が最小となるように努め、大気・土壌・水質の汚染を起こさないこと。
5. 廃棄物の減量やリサイクルに努め、資源利用の抑制に努めること。

「倫理」

東京精密グループは透明性の高い清潔な企業姿勢を保ち、共に長期持続的発展を遂げていくためにコンプライアンスの推進に取り組んでいます。

1. 事業活動を行う地域の法令を遵守し、健全な商慣習・社会理念に沿った公正な対応を行うこと。
2. すべての贈収賄、汚職、恐喝、横領を禁止し、公正・透明・自由な競争を阻害しないこと。
3. ステークホルダーに対して、正確な企業情報を的確に開示することに努めること。
4. 自社の知的財産権を保護するとともに、他者の知的財産権を尊重し、故意

に不正使用したり侵害しないこと。

5. 法令や社会規範等に反する行為を通報する権利を保護すること。
6. 紛争鉱物を使用しないこと。使用が判明した場合には、使用を回避する取り組みに努めること。

「安全と品質」

製品実現プロセスの各工程において、安全、品質、信頼性のつくり込みを行い、安定供給に取り組んでいます。

1. 品質を確保する全社的な仕組みを構築・運用すること。
2. 国・地域で定められた安全法規等を満たした製品・部品・材料・サービス等を提供すること。
3. 求められる品質・価格・納期を確保した製品・サービスを安定供給できるよう高い水準での維持に努めること。

「情報セキュリティ」

(株)東京精密は、情報セキュリティポリシーに基づき、情報システムの適正・効果的な使用を推進し、また情報流出が発生しないように厳正に管理しています。

1. コンピュータ・ネットワーク上の脅威に対して防御策を立て、自社及び他者に被害を与えないよう管理すること。
2. 顧客・第三者・自社従業員の個人情報および顧客・第三者の機密情報は、正当な方法で入手すると共に、適切な範囲で利用し、管理・保護すること。

3. サプライヤーの皆様へのお願い

RBA行動規範に準拠した「東京精密 サプライヤーCSRガイドライン」を作成し、サプライヤーの皆様へ、調達にあたっての基本的な考えである「調達方針」をより深く理解いただくために配布しています。

サプライヤー研修会を毎年開催し、当ガイドラインおよび当社グループのCSR推進へのご理解とご協力をお願いしています。

CSR活動のパフォーマンスの向上及び有効性に対する継続的改善を実施するために指導・教育などの支援を実施しています。

当社が入手したサプライヤー様の会社情報及び個人情報は無断で当社グループ外部に提供することはありません。ただし、紛争鉱物の使用状況などに関する情報を求められた場合にはその限りではありません。

4. 改訂履歴

2019年1月 初版

●発行

株式会社 東京精密 CSR推進室

〒192-8515 東京都八王子市石川町2968-2

URL : <http://www.accretech.jp>